

# 「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」の周知・普及

資料2-5

## 持続可能な開発のための国連海洋科学の10年(2021-2030)



2021-2030 United Nations Decade of Ocean Science for Sustainable Development

- ◆ 2017年12月の国連総会で採択・宣言
- ◆ 海洋科学の推進により、持続可能な開発目標(SDG14「海の豊かさを守ろう」等)を達成するため、2021-2030年の10年間に集中的に取り組を実施
- ◆ 国連コミュニティ全体で、ユネスコ(政府間海洋学委員会(IOC))のみならず、国連食糧農業機関(FAO)、国際水路機関(IHO)、国際海事機関(IMO)、国際海底機構(ISA)、国連環境計画(UNEP)、国連開発計画(UNDP)、国連防災機関(UNDRR)、世界保健機関(WHO)、世界気象機関(WMO)10の機関・プログラム・機構等により共同で推進し、国連海洋法条約(UNCLOS)の枠組みの中で実施予定。国連システム内の調整については国連海洋(UN-Oceans)がIOCと協力。

## 総合海洋政策本部参与会議意見書(令和2年6月30日安倍首相へ手交)抜粋



(3)SDG14 実現のための「日本モデル」の基本的指針

③ 科学技術による基盤形成と強化

科学的知識、基盤、パートナーシップを構築し、海洋に関する科学的知見、データ・情報を通じて、

**SDG14を始めとするSDGsの達成に貢献することを目指す「国連海洋科学の10年」に積極的に関与していくことが重要**である。

## 日本ユネスコ国内委員会の役割

海洋基本計画に基づく施策の総合調整を行う総合海洋政策本部やその他の関係機関等と連携しつつ、多様なステークホルダーを巻き込んだ取組とすることを旨とし、以下のような周知・普及活動を実施する。

## 「国連海洋科学の10年」関連イベントの登録

- 国連海洋科学の10年についてHP等で周知。対象期間中に開催される国内の様々な海洋関連のイベントに対し、国連海洋科学の10年関連イベントへの登録を呼びかけ。
- 登録されたイベントにおいては、ロゴマーク等を使用した広報活動を展開。

## 教育機関等と連携した取組

- 全国のユネスコスクールをはじめとする学校を対象に、海洋教育に関するグッドプラクティスを募集し、来年のユネスコスクール全国大会において表彰。